

# 町民の命を守るための 施策を問う



質問者  
南雲 まさ子 議員

(1) がん対策について  
第5次総合計画の、がん検診率は平成30年度目標として、がん全体で25・7%、男性は27・4%、女性は37%と掲げています。この目標に向けての進捗率と検診率向上のための施策及びAYA世代(15才~39才)のがん対策の推進についてのお考えを伺います。

(2) 防災対策について  
① 平成30年8月1日に神奈川県は、本町の新たな「浸水想定地域」を発表いたしました。今後の対策として本町の「まるごとまちごとハザードマップ」を構築するお考えはありますか。  
② 想定浸水深や避難

所の情報等を洪水関連標識として、町なかに表示するお考えはありますか。

## A 町民の命を守る 環境を整える



回答 (町長)

(1) がん検診率の目標はまだ達成できていない。がん検診の受診体制を整備し、受診率向上につなげていく。AYA世代のがん患者は、思春期という多感な時期にがんに罹患することにより、精神的ストレスなどがあり、



県発表の川音川洪水浸水想定区域図

心のケアが必要である。相談等があった場合には保健師が対応し、専門機関につなげていく。

## 松田小学校校舎建設 計画について



質問者  
平野 由里子 議員

松田小学校校舎建設計画の素案が示されましたが、次のことについてお伺いします。  
(1) 「松田町の学校制度等のあり方に関する検討委員会」の報告書に沿っ

(2) 今回、県が発表した洪水浸水想定区域図により、広域避難場所を見直していく。その際、新たなハザードマップを作成し、「まるごとまちごとハザードマップ」として洪水の深さ等を町なかに表示できるように検討する。ハザードマップは、自分に必要な事項が記載できる効果的なものにし、災害時にスピーディーな対応ができるようにし避難行動につなげていく。

て、町が目指す教育について一定の方向が出ましたが、建設計画にはどのように反映され「保・幼小中一貫教育の推進」はどのようになっていますか。  
(2) 太陽光発電は、パブ

リックコメントにおける校舎建設のコンセプトの防災の観点の中に入っていますが、独立したコンセプトで「省エネルギーの取り組み」という観点で捉えてはいかがですか。  
(3) 同様にバリアフリーの観点も掲げられているのは良いことですが、避難所としても使われる体育館の環境について、どのような工夫を考えていますか。

## A 地域とともにある 学校を目指す



回答 (教育長)

(1) 報告書の示す、子どもの育ちや学びをつなぐ一貫教育の推進と、地域とともにある学校の実現を建設計画に反映するにあたり、将来的に小中一

貫校にも対応可能な学校地域の方が利用できる空間、情報化や国際化に対応した設備や機能を備えた学校を目指す。  
(仮称) 学校運営協議会を設置し、教職員・保護者・地域の方々と課題を共有し、共通のビジョンを作り上げる。  
(2) 採光や通風に配慮し自然エネルギーを活用し、快適な環境を作るだけでなく、環境教育の拠点となる学校を目指し、その取り組みをわかりやすく表示する。  
(3) 防災担当と連携し、災害時も安全で使いやすい建物を目指す。必要な場合はエアコンのある普通教室に避難して頂くことも考える。



体育館は災害時の避難所になる